

1月の各種相談窓口

消費・行政相談

相談名	場所・日時	問合せ
消費生活相談	消費生活センター(市民安全部内) 平日 来庁 9時-16時30分 電話 8時30分-17時15分	丹波市消費生活センター ☎ 82-0996 消費者ホットライン ※土日 ☎ 188
行政相談	山南住セ7日、青垣住セ8日、本庁舎13日、ライフピア15日、春日住セ20日、柏原住セ21日、13時30分-15時30分	総務課 ☎ 82-1002

人権相談

相談名	場所・日時	予約・問合せ
特設人権相談	ライフピア19日、氷上住セ29日	柏原人権擁護委員協議会 ☎ 72-0176
常設相談	水曜9時-16時 神戸地方法務局柏原支局	
総合生活相談 (隣保館相談)	電話 平日9時-17時 ※来館相談可	氷上文化センター ☎ 82-1064
	出張 要予約 山南住セ8日 青垣住セ22日 13時30分-16時	七日市会館 ☎ 74-2310
女性のための悩み相談(予約優先)	市民プラザ7日 ①13時30分②14時30分③15時30分 ※1回50分	男女共同参画センター ☎ 82-8684
配偶者等からの暴力(DV)相談	平日9時-16時30分	丹波市DV相談支援センター ☎ 86-8730
性的マイノリティ電話相談 要予約	平日9時30分-17時30分	人権啓発センター ☎ 82-0242

医療・健康・年金相談

相談名	場所・日時	予約・問合せ
夜間医療健康相談	19時-0時 ※電話相談	丹波市夜間医療健康相談ホットライン ☎ 0120-737-180
小児救急医療相談	17時30分-翌8時 土日祝年末年始8時-翌8時	子ども医療(小児救急医療) 電話相談窓口 ☎ 78-9290
救急医療相談	24時間365日受付 ※電話相談	救急安心センターひよ うご# 7119
健康・栄養相談 要予約	春日住セ7日、ミルネ16日、柏原住セ27日 9時30分-11時 ※「減塩相談」同時開催	健康課 ☎ 88-5082
3月の出張年金相談 (予約受付2/2~2/26) 要予約	氷上住セ3月5日 11時30分-14時30分 定員12人	西宮年金事務所 ☎ 0798-33-2944 ※自動音声 ▶1を選択▶2の「職員にご用の方」を選択

福祉相談

相談名	場所・日時	予約・問合せ
もの忘れ医療相談 要予約	第2庁舎27日 14時-16時	
認知症介護者のつどい 「ほっと」	ライフピア28日 10時-正午	高齢者あんしんセンター ☎ 88-5267
若年性認知症定期相談会	第2庁舎9日 13時30分-15時30分	
権利擁護専門相談 要予約	第2庁舎15日 10時-正午	権利擁護支援センター「よりそい」☎ 0120-686-111
障がい者サポートによるおきがる相談会	山南福セ8日 13時30分-15時	障がい福祉課 ☎ 88-5263
福祉まるごと相談	第2庁舎 平日 9時-16時30分	
くらしとお金の相談 要予約	第2庁舎20日 13時-16時	社会福祉課(刀)- ☎ 0800-200-3393
ニート・ひきこもり相談	10時-16時 ※出張相談は要予約	地域つながりセンター 「ここから」 ☎ 86-7101

市民活動・地域づくり相談

相談名	場所・日時	問合せ
地域活動相談 (予約優先)	市民プラザ(月曜休館) 10時-18時	市民活動支援センター ☎ 82-8683

法律相談

相談名	場所・日時	問合せ
無料登記法律相談	柏原住セ15日 13時30分-16時	春日登記事務所 ☎ 74-2024 共催/県司法書士会たんば支部・ 県土地家屋調査士会但馬支部
不動産無料相談	市民プラザ13日 13時30分-16時	県宅地建物取引業協会三田・丹波支部 ☎ 080-4245-8297(松浪)

雇用・農地相談

相談名	場所・日時	予約・問合せ
出張職業相談 要予約	第2庁舎15日、29日 13時00分-15時50分	
各種個別相談 要予約	春日庁舎 高齢者キャリア相談7日 ママハハ就労相談8日 Uターン就労相談9日、16日 高齢者就労相談21日 若者就労相談22日 障がい者就労相談23日 福祉就労相談28日	丹ワークサポートたんば ☎ 74-3660
農地相談 要予約	山南住セ・ライフピア13日 氷上住セ・青垣住セ14日 柏原住セ・春日庁舎15日 13時30分-14時	農業委員会事務局 ☎ 74-1504 ※前日までに予約

消費生活 NEWS

マルチ商法のトラブル

マルチ商法は、商品を販売する組織の会員になって、次は自分が勧説して次々と組織に加入させる取引です。会員になっても利益が上がらず、大量の在庫を抱えて借金が残ってしまうケースや、焦って友人や親戚を無理やり勧説して、人間関係が壊れてしまうケースがあります。マルチ商法は連鎖販売取引として法律で規制されています。ひと握りの会員の成功談だけをうのみにせず、慎重に検討しましょう。



ID 10300

問 消費生活センター(市民安全課内) ☎ 82-0996

ちーたんの ちょこっと手話

『メリークリスマス』

1



両手の人差し指でXを作つて同時に斜めにおろす

2



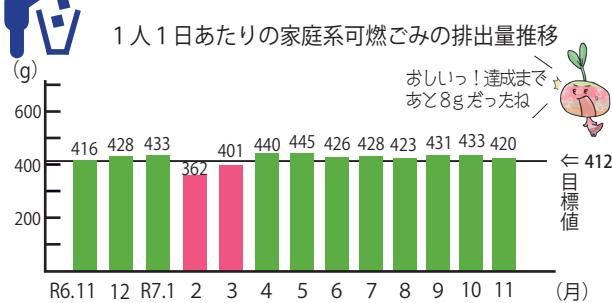
軽く握った両手を勢いよく開きながら上げる

ちーたんと一緒に
季節の手話を覚えよう !!

撮影協力: 手話サークルおやゆび姫

問 障がい福祉課 ☎ 88-5262

みんなで家庭ごみ減量チャレンジ !



1日あたりのごみの排出量目標値: 1人 412g
 11月の1日あたりのごみ排出量: 1人 420g (△ 13g)
 ※ () 内は前月比

問 環境課(クリーンセンター内) ☎ 78-9999

じんけん

相手を知ることが共生の第一歩

「外国人」というだけで、「日本のルールを分かっていない」「どうせ言葉が通じないから声はかけなくていい」など、ひとくくりにして決めつけてしまうケースがあります。外国人市民に丹波市の印象を尋ねると、「人が優しい」「きれいなまち」と話されます。多文化共生社会の実現には、「言葉が通じない、文化が違う、だからよくわからない」と敬遠するのではなく、まずはお互いを知ることが大切です。

今月の標語

「教えて」の ひとことで縮む 心の距離

@まーば



問 人権啓発センター(氷上住民センター別館) ☎ 82-0242

たんば人権講座3

改めて部落史に学ぶ

～差別は誰の問題か～

部落問題を中心に歴史を正しく学び、人はなぜ差別するのか、「正しく知り、正しく行動する」ことを考えます。

とき / 令和8年1月22日(木)

19時~20時30分

ところ / 柏原住民センター

講師 / 京都教育大学 名誉教授 外川 正明さん

申込 / 電話・申込フォーム



ID 11404



問 人権啓発センター(氷上住民センター別館) ☎ 82-0242

ごみ分別ワンポイント ! Vol.8

小型の電気製品の捨て方

ゲーム機やおもちゃなどの電池を入れて動くような製品は、外見上がプラスチックでできているものが多くあります。一見、プラスチックごみのように思われますが、電池を入れる部分などに金属が使用されているため金属類になります。

小型の電気製品を捨てる際は、電池を抜いてから金属類の日にごみステーションへ出しましょう。

